

水産庁

プレスリリース

平成19年5月11日
水産庁

第2期北西太平洋鯨類捕獲調査船団の出港について(沖合調査)

1. 出港日、場所

- 平成19年5月12日(土曜日)、広島県尾道市
調査母船「日新丸」(8,030トン 小川知之船長以下125名)
- 平成19年5月11日(金曜日)、山口県下関市
目視採集船「第二勇新丸」(747トン 廣瀬喜代治船長以下22名)
「勇新丸」(720トン 竹下湖二船長以下22名)
「第一京丸」(812.08トン 佐々木安昭船長以下23名)
- 平成19年5月11日(金曜日)、宮城県塩竈市
目視専門船「第二共新丸」(372トン 小宮博幸船長以下23名)
- 平成19年7月4日(水曜日)、宮城県塩竈市
目視専門船「海幸丸」(860.25トン 新屋敷 芳徳船長以下26名)

2. 調査期間

平成19年5月11日～8月下旬

3. 目的

- (ア) 鯨類の摂餌生態、生態系における役割の解明
(イ) 鯨類及び海洋生態系における海洋汚染の影響の解明
(ウ) 鯨類の系群構造の解明

4. 捕獲頭数

ミンククジラ100頭(別途沿岸調査で120頭)、イワシクジラ100頭、
ニタリクジラ50頭、マッコウクジラ10頭

5. 調査実施主体

(財)日本鯨類研究所(TEL:03-3536-6521)

参考

北西太平洋における鯨類の資源量推定値

ミンク鯨	約2万5千頭
ニタリ鯨	約2万5千頭
イワシ鯨	約6万9千頭
マッコウ鯨	約10万2千頭

— お問い合わせ先 —

水産庁遠洋課捕鯨班 諸貫
代表 03(3502)8111 内線6724
直通 03(3502-2443)

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁